



医学生・研修医の集い終了報告

二輪草副センター長 菅野 恭子

令和6年11月18日、医学生・研修生の集いが開催されました。今年度のテーマは“研修医生活ってどんなもの？”で、3名の先生方に貴重なお話をいただきました。

1. 初期研修医 小野颯太先生（旭川医科大学病院）

小野先生は、初期研修医のイメージについてお話しく下さいました。以下の内容を共有いただきました。

- ・ **忙しさと休暇の実態**
 - 忙しさは診療科によって異なる。
 - 旭川医科大学病院では研修医が有給の8割を消化している。
- ・ **研修プログラムと職場環境**
 - 給与、勤務時間、当直について具体的な説明。
 - 忙しい時期とそうでない時期の1日の勤務例を紹介。
- ・ **大学病院研修のメリット**
 - 入局前に職場の雰囲気が分かる。
 - 専門性が高く診療科数が多い。
 - 指導医からのフィードバックを受けられる。
 - 研修医が多く相談しやすい。



小野 颯太先生

小野先生は、研修当初入局先を決めていなかったが、研修中の経験を経て麻酔科に進むことを決められたとのこと。最後に、福沢諭吉の言葉を引用し、学ぶ意欲があれば研修環境の差は問題にならないと語られました。

2. 林杏香先生（旭川赤十字病院）

林先生は“我武者羅”をタイトルにお話しく下さいました。研修医生活についての率直な意見を共有いただきました。

- ・ **働くことについての考察**
 - 研修医は“研修中”“仕事をさせてもらっている”“医療従事者”の3つの側面を持つ。
 - 研修は1か月単位で科が変わるため、進歩と振り出しに戻る感覚の繰り返し。
- ・ **失敗への対処法**
 - 患者への謝罪が必要な場合は、上級医と相談し対応する。
 - 失敗の原因を分析し、紙に書き出して指導医と共有。
 - フィードバックを受けることの重要性。
- ・ **日々の心掛け**
 - 臨床の疑問を調べ、知識として蓄える。
 - 将来の専門でない科で学ぶことの価値。
 - 指摘を受けるのは研修医の間だけかもしれない。
 - 自身の振る舞いで受けられる教育の質を変えることができる。

林先生は、感情を知覚しコントロールするEQ（感情知能）の活用が失敗や困難を乗り越えるヒントになると提案されました。



林 杏香先生

3. 横浜祐子先生（旭川医科大学 二輪草センター 副センター長）

横浜先生は、仕事と子育ての両立についてお話しく下さいました。

- ・ **キャリアと専門性**
 - 遺伝カウンセリングを通じて専門分野を持つことの重要性を実感。
 - 産婦人科は“おめでとう”と言える唯一の科だが、つらい思いをしたご夫婦にも寄り添い原因を共に考える。
- ・ **仕事と家庭の両立**
 - 子育てしながら働く経験が、周囲の理解を促す力になる。
 - 小さなお子さんを持つ医師への配慮として、急な仕事の更にも柔軟に対応。
- ・ **女性医師としての視点**
 - 家庭との両立に不安を抱く学生には、自分を応援してくれる人を大切にすることの重要性を強調。
 - 専門科の選択では、その科の家庭との両立への取り組みが重要。



横浜 祐子先生

また、同僚男性医師からの育休取得についての意見も紹介され、育児に関わることの意義と課題について考察されました。

最後に、旭川市医師会副会長の中條拓先生より、医師会の構造や役割、会員のメリットについてお話をいただきました。

今回の集いでは、早い時期にロールモデルの体験談を聞くことで自身の働き方や生き方を見直す機会となりました。ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。また、この場を借りて主催いただいた旭川市医師会および北海道医師会、そしてお忙しい中、ご講演くださった先生方にも深謝いたします。



中條 拓先生

医学部1-2年生向けワークライフバランスに関する講演 実施報告

二輪草副センター長 横浜 祐子

かねてより旭川医科大学化学教室 眞山博幸教授はじめ一般教育の先生方から、旭川医科大学医学部1-2年生向けに子どもをもつ医師と働き方に関して質問に答えられるようなセミナーの御依頼があり、2024年12月3日17:30-18:30“仕事と子育てどうしている？女性医師にきいてみよう”というセミナーを行いました。10人の学生さんが熱心に話を聴いて下さり、たくさんの質問をいただきました。終了後のアンケートでは生活や働き方のイメージが明確になった、疑問や不安の解消になった、と嬉しい声が寄せられました。これからの医学を担っていく皆さんが未来を考えていく上で参考になればと思いました。また子育てしながら仕事をする医師が心配なくやって行ける環境整備の重要性も感じました。

病児・病後児保育室、バックアップナース、問い合わせ・カウンセリング相談

【1月20日～2月19日までの利用状況】

病児・病後児保育室	依頼回数	4回	利用回数	4回
バックアップナース	依頼回数	14回	稼働回数	14回
問い合わせ数				1回
カウンセリング相談				2回

【問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター（復職・子育て・介護支援センター）

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL：0166-69-3240（内線3240） サンニンヨレ FAX：0166-69-3249

開設時間：8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

ホームページ: <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

